

春光まちづくり推進協議会 会議録 令和元年度 第3回

会議概要	
日時	令和元年7月17日(水曜日) 午後6時00分から午後7時30分まで
場所	旭川市北部住民センター 1階 研修室
出席者	委員（正副会長以外は50音順） 今村会長，里村副会長，安齋委員，市川委員，大泉委員，上山委員，小澤委員，佐藤（智）委員，佐藤（ひ）委員，上西委員，両瀬委員，和田委員 （欠席者 荒井委員，上野委員，波岸委員） オブザーバー 春光・春光台地域包括支援センター職員 早坂氏 事務局 地域まちづくり課 土岐課長，平山課長補佐，中山主査 北部住民センター 高橋，大城
会議の公開・非公開	公開
傍聴者の数	0名
	配付資料
	・次第 ・資料1 春光あいさつ運動事業 周知用チラシ（案）

（補足）「春光まちづくり協議会」を以下「協議会」という。

議事の内容

1 開会

春光・春光台地域包括支援センターの人事異動に伴う現委員の退任報告及び後任予定者の紹介を行った。

2 防災講話

講話「災害への備え」

【防災課】

- ・従前の行政主導のハード・ソフト対策には限界がある
住民：「自らの命は自らが守る」という意識を持つことが必要
行政：住民が適切な避難行動をとることができるよう意識の啓発，地域の災害リスク等の周知，また災害時の適切な防災情報の提供により支援を行う
- ・「災害への備え」とは，災害による被害を減らすために日頃から努力すること
自助（自分の身は自分で守る）と共助（地域や身近な人どうしが助け合う）
地域に起こりえる災害の危険性を知り，災害に備える
- ・危険性のある災害とは
地震：全国どこでもマグニチュード6クラスの地震が起こるといわれている
停電：昨年9月の地震に伴うものや，台風・暴風雪などあらゆる原因で発生
洪水・土砂災害：春光地域の想定水深は少ないところでも大人の膝までつかう程度はある
（平成31年3月市内全戸配付した「旭川市洪水ハザードマップによる確認」）
- ・避難の判断は，地域や自宅の状況により各自が判断する
- ・地震への備えとして家具等の転倒防止策や配置に留意する
寝る場所は，家具が倒れても直接当たらないか，ドアがふさがれないか
避難時は電気のブレーカーを落とす（通電火災を起こさない）
- ・大規模停電などライフライン（水道・電気・ガス）の停止への備え
東日本大震災で最も困ったことはトイレと飲み水である
自宅での備え（水や非常食等の備えは最低3日間分は必要）
二重にしたビニール袋にちぎった新聞紙を入れることでトイレの代用となる
乾電池やカセットガス式のストーブなど，電気をいらない暖房や照明の準備
- ・水害への備え（旭川市洪水ハザードマップ）
- ・土砂災害への備え
- ・避難行動要支援者名簿及び提供について
自主防災組織，町内会，地区市民委員会，地区民児協，地区社協に提供している

質疑応答と意見交換

【事務局】

北部住民センターは避難所になっており，昨年9月のブラックアウト時には断水や給水車等の問合せが市民から殺到したが，市からの情報提供はなかった。今後，避難所施設管理者向け

の災害時マニュアルや情報連絡網の構築が必要ではないか。

【防災課】

ブラックアウト時には市の電話も使用できない状況だった。防災センターには多くの問合せや苦情があり想定外のことも多く、対応し切れていないというのが現状。今後、災害時の対応については御意見を含め検討していく必要がある。

【委員】

ブラックアウト時、市営住宅では停電に伴う断水により給水に困窮した。断水の原因が停電によるもの（受水槽のポンプが作動しない）で、受水槽を通らない公園蛇口からの水を確保できることに気付くまでに時間を要した。停電になると市営住宅など高層の建物では断水することをもっと周知して欲しい。

また、ビニール袋に新聞紙等を入れてトイレの代用とする方法が講話の中で紹介されたが、この汚物は燃えるごみとして処理するのかお聞きしたい。

【防災課】

高層住宅は受水槽方式が多いので停電により断水となるが、それにすぐ気が付かないというのは、旭川市の災害の少なさ、経験のなさが現れたもので、これを教訓としていきたい。市営住宅については、施設管理者の市建築部に要望をお伝えする。

次に、一般的には災害で汚損した畳やタンスなどは災害ゴミとして搬出・集積することになると思う。また、代用トイレの汚物は燃やせるごみだと思う。

【委員】

避難行動要支援者名簿（介護が必要な方や障がいがある方など一人で避難することが困難な方の名簿）の掲載者支援について、救助の際に優先順位はあるのか。

【防災課】

優先順位は設けていない。障がいの程度や内容は多岐に渡り、限られた行政職員で全てを対応することは不可能であるため、地域の自主防災組織や町内会など各団体の御協力を賜りたい。

委員の皆さんには、是非とも自助だけでなく共助についてもできることを考えていただきたい。

3地区市民委員会や町内会、また各団体においても、今回のような防災について話す機会を設けていただければと考えている。

【会長】

本日のことを踏まえ、今後の自主防災事業につなげていきたいと思う。

3 検討事項について

(1) 春光地域のまちづくりの検討と推進について

ア 各取組について

(ア) 春光あいさつ運動事業

【事務局】

ベスト及び旗については40組作成し各団体に必要数を配布済。北部住民センターに予備6組を保管しているので活用していただきたい。

事前にあいさつ運動周知用チラシの内容確認をお願いしていたが、裏面の協議会の紹介内容も含めて最終確認の場とさせていただきたい。

また、作成数は各町内会回覧用、協議会委員の各所属団体用、地域の4小学校PTA配付用など総数2,400部、周知チラシの配付時期は8月上旬を予定している。

【委員】

春光魅力探訪会の説明中「井上靖」の前に旭川で生まれた作家であることがわかるよう加えてはいかがか。

【事務局】

加えることとする。

【委員】

春光西地区市民委員会においては、あいさつ運動が拡大していない状況にあり、ぜひ町内会を中心とした取組を進めていただきたい。

【委員】

春光西地区の町内会の取組は進んでいないのが現状であり、地区民児協や地区社協とも連携しながら拡大に向け取組を進めていきたい。

【委員】

春光中央地区市民委員会では、総会の中であいさつ運動を市民委員会の事業として位置づけ取り組むこととしたことで各町内会長は協力してくれている。協議会としての事業ではなく市民委員会事業とした方が広がるのではないかと思う。

【会長】

各地区の経過や事情が異なると思うが、更に協議を進めながら拡大していきたい。

(イ) 春光魅力探訪会

【事務局】

今回は、北部住民センターを出発し井上靖記念館で学芸員の説明を受けた後、生誕の地、井上靖通りを回るルートにコースを見直し、全体の所要時間は2時間程度を予定している。9時開会、準備体操の後9時30分出発、11時30分頃に到着しアンケート記入後解散としたい。

9月20日締め切りで町内会回覧による参加者募集を行うが、9月24日に実行委員会を開催し、参加人数の最終確認や当日の役割分担等を決める予定である。

また、各ポイントでの説明員を募集しており御協力いただきたい。

※意見等なし

(2) その他

【事務局】

春光3地区一斉あいさつ運動、春光魅力探訪会のいずれも、9月下旬の事業開催後の10～11月頃に各実行委員会を開催し課題整理等を行いたい。

次回の協議会については、改めて日程調整を行わせていただきたい。

4 閉会